

平成28年度
(第6期)

事業状況報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

事業状況報告書

本年度は、主な事業として、表彰、研究助成、講演会、標準化、自主研究などの事業を実施し、所期の成果を挙げ、ウェアリング技術の向上、発展及び普及啓発に貢献した。

1. 会 議

- (1) 理 事 会
 - 平成28年 6月 1日 (水) [第11回]
 - 平成29年 3月 1日 (水) [第12回]
- (2) 評 議 員 会
 - 平成28年 6月16日 (木) [第11回]
 - 平成29年 3月 9日 (木) [第12回]
- (3) 審 査 委 員 会
 - 平成29年 2月 9日 (木)

2. 主要事業の概要

2. 1 スガウェアリング財団賞表彰及び研究助成

(1) 第34回表彰・第35回研究助成 贈呈式並びに記念祝賀会開催

平成28年4月26日(火)、東海大学校友会館において生川浩史文部科学省大臣官房審議官ご臨席の下、スガウェアリング財団賞表彰及び研究助成贈呈式並びに記念祝賀会を開催、次の表彰・助成を行った。

[表 彰] 科 学 技 術 賞…1件
科 学 技 術 功 労 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…9件 … [別添資料①]

(2) 第35回表彰・第36回研究助成 候補者募集

募集期間は平成28年7月～11月末までとし、全国の大学及び学会・協会・産業界・団体等約280機関に対して推薦を依頼した。

(3) 第35回表彰・第36回研究助成 選考及び決定

相澤益男審査委員長及び須賀茂雄審査委員が中心となって、書類選考並びにヒアリングを、平成29年2月1日(水)、2月2日(木)に実施した後、平成29年2月9日(木)審査委員会において審査し、次の表彰・助成を選考、平成29年3月1日(水)第12回理事会において決定した。

[表 彰] 科 学 技 術 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…6件 … [別添資料②]

表彰・研究助成贈呈式は、平成29年4月27日(木)東海大学校友会館にて開催。

2. 2 学術講演会

下記の通り東京・大阪にて講演会を開催し、ウェザリング技術の普及啓発を行った。

第63回スガウェザリング学術講演会〔東京講演〕

開催日：平成28年11月2日（水）
場 所：アルカディア市ヶ谷（3階富士の間）
聴講者：300名

第64回スガウェザリング学術講演会〔大阪講演〕

開催日：平成28年11月9日（水）
場 所：大阪国際会議場（12階特別会議場）
聴講者：200名

…〔別添資料③〕

2. 3 標準化事業

本年度は、ウェザリング技術に関する標準化事業として、下記規格の改正原案の作成を行った。

JIS L 0888（光及び汗に対する染色堅ろう度試験方法）改正

2. 4 自主研究

(1) 耐候光・降雪研究

塗装板、プラスチック等各種材料について、第3回屋外暴露と各種促進耐候性試験との相関研究（2014年～2017年）を行った（継続中）。

(2) 腐食研究

- ①屋内で大気暴露した金属材料の世界各地における腐食挙動を定量的に把握し、これら金属材料を用いる製品の長寿命化・高信頼性化対策に寄与することを目的として、データベースの構築に取り組んだ。対象材料は炭素鋼、亜鉛、銅、銀、ニッケル、すずとした（継続中）。
- ②ISO 6988、ISO 3231 及び DIN 50018 に規定されるガス腐食試験の試験結果について研究を行った（継続中）。
- ③新たに屋外暴露と各種腐食促進試験との相関研究（2014年～2017年）を実施し、その成果の一部を第63回・64回スガウェザリング学術講演会で紹介した。

2. 5 普及啓発事業

- (1) 学術講演会開催に当り、「第63回・64回 スガウェザリング学術講演会要旨」を発行。講演会参加者に販売すると共に、以後関係者に販売し、ウェザリング技術の普及活動を行った。
- (2) ホームページを活用し、当財団の事業や活動実績を紹介した。

3. 外部団体への協力

3. 1 外部団体等の研究への参画及び協力

当財団より下記委員会に委員を派遣し、協力した。

- (1) 日本学術振興会 染色堅ろう度134委員会
- (2) 繊維評価技術協議会 国際標準化委員会
- (3) 日本規格協会 規格調整分科会 (消費者グループ消費者生活)

3. 2 外部団体の会議開催などの協賛及び協力

(一財)日本ウエザリングテストセンター主催の「平成28年度ウエザリング技術研究成果発表会」に協賛した。〔平成28年11月30日(水)メルパルク東京、12月1日(木)JWTC 銚子暴露試験場〕

第34回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術賞(個人)] 本賞:表彰状 副賞:(1)正倉院記念楯 (2)賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	さとみかづいち 里見多一 日本パーカライジング株式会社 代表取締役社長	ウェザリング技術を基盤とした クロムフリー表面処理技術の開 発と普及	(一社) 表面技術協会

[科学技術功労賞] 本賞:表彰状 副賞:(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

2	いとうみきや 伊藤幹彌 (公財)鉄道総合技術研究所 材料技術研究部 上席研究員 GL (防振材料)	材料積層による高分子材料の信 頼性向上に関する研究	(公財) 鉄道総合技術研究所
---	--	------------------------------	-------------------

第35回 研究助成

	贈呈者	助成課題	推薦団体	助成金額
1	いしやまひろき 石山央樹 中部大学 工学部建築学科 講師	雨水に対して耐久性の高い木造 ディテールの評価	中部大学	50万円
2	いまもとけいいち 今本啓一 東京理科大学 工学部第二部建築学科 教授	実環境下における建築用外装仕 上げ材の耐用年数予測手法と軀 体保護効果の定量評価に関する 研究	東京理科大学	100万円
3	おかやまたかゆき 岡山隆之 東京農工大学 大学院農学研究院環境資源物質科学部門 教授	アコースティック・エミッショ ン法を用いた脆弱化した紙資料 の劣化度測定システムの開発	東京農工大学	50万円
4	かいぬましげのぶ 貝沼重信 九州大学 大学院工学研究院社会基盤部門 准教授	塗膜傷劣化の複合性と電気化学 機構を考慮した鋼構造物の経時 腐食損傷シミュレータの開発	九州大学	50万円
5	かねまつひでゆき 兼松秀行 鈴鹿工業高等専門学校 校長補佐 材料工学科 教授	溶射によるバイオフィルム制御 と大気腐食抑制に関する研究	(一社) 日本溶射学会	50万円
6	くぼてらけん ご 窪寺健吾 (地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ繊維・化学グループ 主任研究員	フレキシブルセンサの屋外耐候 性に関する研究	(地独) 東京都立産業 技術研究セン ター	50万円
7	くろだせいじ 黒田聖治 物質・材料研究機構 先進高温材料ユニット ユニット長	2016年度 ISO/TC 107 (金属及 び無機質皮膜) 日本開催	(一社) 表面技術協会	30万円
8	ただえいじ 多田英司 東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授	オーステナイト系ステンレス鋼 の大気環境応力腐食割れにおけ るき裂発生・進展機構の解明	東京工業大学	50万円
9	よねづあきお 米津明生 中央大学 理工学部精密機械工学科 准教授	高分子材料のマイクロスケール 耐候劣化層の短時間診断技術	中央大学	100万円
			合計	530万円

(敬称略)

第35回（平成28年度）スガウエザリング財団賞 表彰

【科学技術賞（個人）】 本賞：表彰状 副賞：(1) 正倉院記念楯 (2) 賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	ほりてるお 堀照夫 (70歳) 福井大学 産学官連携本部 客員教授 (名誉教授)	染色 ^{みほく} 布帛の各種染色堅ろう度の 評価および高堅ろう性染料の開発	(一社) 繊維学会

第36回（平成29年度）研究助成

	贈呈者	助成課題	推薦団体	助成金額
1	あずみかずひさ 安住和久 (59歳) 北海道大学 大学院工学研究院電子材料化学研究室 教授	寒冷地における積雪下暴露金属 試験片の詳細腐食モニタリング	北海道大学	100万円
2	おはらひさし 小原久 (67歳) (一社) 日本マグネシウム協会 専務理事	マグネシウム合金板材の暴露試験 と塩乾湿複合サイクル試験の 相関に関する調査	(一社) 日本マグネシウム協会	100万円
3	こばやしひろあき 小林弘明 (33歳) あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任	微粒子ピーニング処理と大気圧 プラズマ処理の組み合わせによる 塗装前処理プロセスの研究	あいち産業科学技術総合センター	50万円
4	たなべただお 田邊匡生 (43歳) 東北大学 大学院工学研究科 准教授	テラヘルツ光による被覆PC鋼線 劣化の非破壊・非接触診断	東北大学	50万円
5	はいわかずひさ 生岩量久 (68歳) 広島市立大学 名誉教授	IEC TC104(環境条件、分類及び 試験方法)東京会議開催	(一財) 日本規格協会	40万円
6	ほそいあつし 細井厚志 (35歳) 早稲田大学 理工学術院基幹理工学部 機械科学・航空学科 准教授	海洋構造用CFRPの海水環境疲労 寿命評価技術の構築	早稲田大学	100万円
			合計	440万円

(敬称略)

第63回 東京・第64回 大阪 スガウェザリング学術講演会

63 rd TOKYO, 64 th OSAKA
SUGA ACADEMIC SEMINAR : WEATHERING

〔第63回 東京〕開催日：平成28年11月2日（水） 会場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間
〔第64回 大阪〕開催日：平成28年11月9日（水） 会場：大阪国際会議場 12階特別会議場
(グランキューブ大阪)

テーマ：屋外暴露と促進試験

10:00~10:10	開会のご挨拶	
[1] 10:10~11:00	グローバル大気腐食データベースの構築 (3. 屋内大気腐食) スガウェザリング技術振興財団 腐食研究委員会	石川 雄一 ▶ P.3
[2] 11:05~11:50	黎明期の建築物の耐久性調査を通して 【第1部】日本最古の鉄筋コンクリート (RC) 集合住宅が語るもの - 軍艦島構造物群の建築学的価値 - 東京理科大学 工学部建築学科 教授	今本 啓一 ▶ P.17
[3] 12:55~13:30	【第2部】旧国立霞ヶ丘競技場の耐久性調査 - 国立競技場は材料学的な寿命を迎えていたのか - 東京理科大学 工学部建築学科 教授	今本 啓一 ▶ P.51
[4] 13:35~14:25	宇宙環境における材料劣化と耐宇宙環境性評価 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 第一研究ユニット 研究開発員	森 一之 ▶ P.81
[5] 14:30~15:30	世界中の環境下で、放射線量検出の信頼性はどうか？ Oak Ridge National Laboratory, Technical Testing and Analysis Center IEC/TC104(Environmental conditions, classification and methods of test) /MT16(Climatic conditions and test), MT19(Maintenance of IEC 60721-3 series) Convener	Peter Chiaro ▶ P.107
[6] 15:35~16:25	自動車用防錆材料の塩害環境における腐食メカニズム解析と促進試験 トヨタ自動車株式会社 有機材料技術部 防錆技術室 主任	梶山 優子 ▶ P.123
[7] 16:30~17:00	腐食促進試験の基礎と屋外暴露との相関研究 (第一報) -促進耐候性試験と腐食促進試験との組合せ試験の有効性- スガウェザリング技術振興財団 耐候光研究委員会	渡辺 真 ▶ P.143

(敬称略)

後援：文部科学省
 協賛：(公社)高分子学会 (一社)色材協会 (公社)自動車技術会 (一財)日本ウエザリングテストセンター
 (一社)日本建築学会 (一社)日本ゴム協会 (一社)日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
 (一社)日本防錆技術協会 (一社)表面技術協会 (公社)腐食防食学会 スガ試験機(株)
 主催：(公財)スガウェザリング技術振興財団